



にしきまち 集落支援だより

令和4年10月1日 No.22



回覧

錦総合支所 地域振興課

錦地域 集落支援員

さん ぶ いち た え こ

三 分 一 多 恵 子

☎ 0 8 2 7 - 7 2 - 2 1 1 0

道の駅 スマホ教室

8月24日



みなさん、マイナンバーカードお持ちでしょうか？（ほとんどの方がお持ちでした）おー素晴らしいです。
ＩＣチップの中には、電子証明書等入っていて、オンラインでの行政手続き等で使用できます。

前回、初級編が終わり修了証をいただきました。今回から中級編に入り「ラインの使い方」を勉強しました。友達登録の仕方・写真や動画の配信の仕方など、普段私達が使いたいけどうまく出来ない。というようなことをしっかり教えてもらいました。スタッフの皆さんがその日の人数に合わせてついて来てくれます。初めての方も、分からない所から始めてもらえます。現在も新規加入可能です。月に1日です、道の駅スマホ教室に通ってみませんか。楽しく安全にスマホを使い、中々会えない子や孫と動画で会話をしてみましよう。その他にもスマホで楽しめる機能や使い方も教えてもらえます。

申し込み先 道の駅 ピュアラインにしき 電話 0827-71-0011



なないろ工房の定例日、2人の新規会員さんと一緒に活動しました。

同じ山野草でも時期により出る色が違うようです。この度は、とうきび・くさぎな・こあかそで染めてみました。同じ色の中に入れても生地素材によって色が変わります。それがまた草木染の面白いところでしょうか。水から煮出した色は生地に吸い込まれ、吸い尽くしたら色がなくなっていくそうです。

柱島・集落支援員の活動



岩国市、唯一無二の有人島である柱島群島（柱島・黒島・端島）において令和元年に集落調査を柱島担当の集落支援員が実施。少しでも島の現状を皆さんに知ってもらうために調査報告会を開くなどし、何とか島の活性化が図れないものかと「島の様々な問題や課題解決」に向けた活動を続けています。

岩国市の住民基本台帳によると令和4年9月1日現在、柱島の島民は109名・高齢化率81.6%です。その柱島では6月、県の「専門家派遣事業」を活用し「集落や地域で生活維持のため必要な機能や場、島民が高齢になっても可能な限り安心して島内で生活できる環境づくり」をテーマに講師を迎えヒアリングをしました。多様化する問題・課題について話し合いをし、みんなで意見や知恵を出し合い、この事業を活用しながら相互の協働によって「誰もが住みやすい柱島であり続けること」を目的に、あきらめることなしに柱島は前に向かって歩きだしました。自分たちのことは自分たちの手で。

そこで、私たち錦町はどうでしょうか、町民2,233名・高齢化率60.1%。しかし、岩国市1番の広さを持つ錦町、少子高齢化はもとより人口の減少、空き家・耕作放棄地の増加。と、段々といろいろな問題が蓄積していきます。もう遅いと思うか、まだ間に合うと思うかです。「丸っと錦町」幅広い世代と広い地域が一丸となり「自分たちのことは自分たちの手で」いろんな人が意見や知恵を出し合って、どうしたら地域活性化が図られるのだろうか話し合うことが必要なのではないのでしょうか。三人寄れば文殊の知恵、もっとたくさんの人で考えたら「もっと住み良い持続可能な錦町」になるのではないのでしょうか。